

昭和37年9月20日生、平成23年4月、
福岡県議会議員初当選。添田町立添田小学校・添田中学校・福岡県立田川高等学校卒業。

さとし
こうざき 聰 夢からはじまる
<http://www.kouzakisatoshi.com>
県政報告
食と緑を守る緑友会福岡県議団
平成27年3月号

「四年間の成果として」

農林水産委員会・副委員長
福岡県議会議員 神崎 聰

う間に過ぎようとしています。田川の皆様から頂いた13,519票という一票一票の重みと、それに込めた想いを裏切ることなく、また喜びにすることなく、一生懸命に取り組んできた議会活動・議員活動だと自負しています。最後の二月定例県議会でも、「ダメ周辺・湖面の有効活用について」一般質問をし、これで四年内のすべての本会議で壇上に立つことができました。ひとえに、地元田川の皆さんのお陰だと心から感謝致しております。

3度の代表質問を含め、十六回連続の質問は、回数・質問時間とも全県議で断トツのトップでありまして、知事を含め執行部の答弁時間も群を抜いていました。当然、引き出しました答弁内容が重要でありまして、それがどのように政策に結びつき、予算化し、県政はもどり元田川にどう貢献できたのかが大事であります。

四年間を振り返り、一朝一夕には行政は動きませんが、コツコツと誠実に取り組んできたからこそ、執行部の皆さんとの信頼関係も築け、議員同士の理解と協力もできたと思います。

家庭の中で子供たちに「努力に勝る天才なし」と言つてきましたが、親としても何にも代えがたいものであり、頑張った甲斐がありました。今後とも、皆様のさらなるご厚情を賜ります。

導、ご報捷、また、どうにお願い申します。よ

スマートフォンでも
県議会議員中継



議会本会議質問

ブログ報告



動画報告



フェースブック



フェースブック ページ



ツイッター



外資系企業の県内誘致

市町村の国際交流における県との連携

日系人社会のブラジル経済交流

平成24年1月2月一般質問

①福岡県・デリー州友好提携

・格差問題について

②情報格差(デジタルデバイド)

③雇用格差

④学力格差

⑤地域間格差(経済格差)

平成25年2月一般質問

・本県の林業振興について

①森林經營計画

②九州北部豪雨災害の復旧

③木材需要拡大と原木供給

④伐採後の森林整備

⑤荒廃森林から生じる間伐材

平成25年6月一般質問

・ソーシャルメディアの活用と対策について

①ネット選舉運動解禁

②災害時の(県民への情報伝達を目的とした)ソーシャルメディアの活用

③県民との双方向コミュニケーションによる広報・広聴活動の強化

④パブリックコメントにおけるソーシャルメディア活用

平成25年9月一般質問

・青少年の人材育成について

①2020年東京オリンピック・パラリンピック開催

②小中学生の体力向上

③英彦山青年の家

④県立高等学校同窓会

平成25年12月代表質問

①知事の政治姿勢

県民幸福度日本一他

②農政問題

農地中间管理構造、米政策の転換方針、ウンカ被害

③防災・防火対策

・自主防災組織のリーダー育成、防火対策

④情報通信政策

本県のIT利活用社会の実現

⑤田川地域活性化

田川地域包括連携協定

⑥教育問題

子ども・子育て支援新制度、筑豊地区的学力向上

⑦警察問題

警察官の術科訓練

平成26年2月一般質問

①循環型社会への取り組み

②絶滅危惧種保護対策

③学校給食・衛生管理と栄養教諭の役割

平成26年6月一般質問

・圏域を越えた交流促進による田川地域の振興について

①田川地域の企業誘致

②住民交流の促進と新たな観光振興策

③広域的地域水道ビジョン

平成26年9月代表質問

・知事の政治姿勢について

①地方創生

②九州の観光戦略

③田川・京築地区への航空機産業の誘致

④オスプレイ問題

・本県の観光戦略

⑤軍師官兵衛・福岡プロモーション活動

⑥添田町歴史の風致維持向上計画

⑦福岡ソフトバンクホークス

・農業問題

⑧本県農業の振興と農業

⑨農産物の輸出

⑩ふくおかエコ農産物・G.A.P.(ギャップ)

⑪農外からの新規参入者拡大

⑫キウイフルーツのかいよう病害と今後の振興

・公立学校教育の振興方針

⑬県立専門高校の取り組み

⑭小中一貫教育

⑮中高一貫教育校による地元中学校教育への影響及び取り組み

・暴力団対策について

⑯暴力団撲滅に向けた取組み

■平成26年12月一般質問

①観光振興と地域活性化という観点からの「ふるさとウェディング」

②婚姻数を増やすための取組み

■平成23年決算特別委員会

①グラフふくおか

②県営住宅における浄化槽処理料の未払い問題

③教員採用試験と業績評価

④寄鳥獣被害について

■平成25年決算特別委員会

①国保連合会特別調整交付金

②教職員の再任用

■平成26年決算特別委員会

①運転免許証を自主返納された高齢者の方の支援サービス

②小中学校における女性管理職登用と若手教員の育成

3度の代表質問を含め、連続16回！
質問回数・時間、知事答弁とも
全県議で断トツのトップ！

本会議での3度の代表質問、一般質問に対して、知事・教育長が答弁された結果を受け、県執行部・県教委が動きます！

平成23年6月～田川地域の将来ビジョン<知事答弁>
①筑豊の鳥尾トンネルなど基盤整備が進んでいるということやトルコキキヨウの産地化、英彦山等の観光資源の整備など地域産業の育成が図られている。また、看護学部の開設をはじめとする福岡県立大学の機能強化、そういった教育環境も向上してきている。田川地域の自立的な発展に向けた潜在的な力というのは高まり、加えて、今回の山本作兵衛氏の炭坑記録画の世界記憶遺産登録の朗報。こうした潜在力とこれまでのこの地域にあります産業や技術の集積、人材の集積、これらを生かしながら、農業振興や観光振興、企業誘致、人材育成を進める。さらに観光、健康、環境3つの産業の観点を頭に置きながら、地元市町村と一緒に地域の総合力を高め取り組みを継続的に進めて行きたい。

<田川地域の将来ビジョン～施策の方向性>

県と田川市郡による広域連携プロジェクトが平成24年度に発足。魅力ある田川地域のイメージを構築し、福岡・北九州等の都市圏に向けて強く発信し、たくさん的人が訪れる地域を目指す。また、地域全体で地域の将来を担う人材を育み、地域住民が主体的に地域活性化に関わる地域を目指す。田川まるごと博物館プロジェクト、田川・人財育成プロジェクト（田川飛翔塾事業・田川いきいき学舎事業）の立ち上げ。

予算額～平成26年度 6,740千円

平成23年12月～伊良原ダム<知事答弁>

②伊良原ダム建設事業は、総額約680億円を予定しており、現在設計業務付替道路等の工事を計画的に実施中。伊良原ダム建設に当たり、県は事業に伴う損失を補償するため、また、共同事業者であります田川地区及び京築地区の両水道企業団は水利権を取得するため、各々関係河川使用者との協議が必要。そのため県は、共同事業者と共に「伊良原ダム水利権調整会議」を設置し、協力して関係河川使用者との協議を行なっている。伊良原ダムでは今後、設計業務や付替道路工事などの進捗状況を踏まえながら、本体発注時期を検討していきたい。海面漁業者の対応については、「伊良原ダム水利権調整会議」の中で検討していく必要がある。内水面の漁業者と河川使用者との協議につきましては、現在はまだ協議中。一部団体とは調整が終わっており、また残る団体との協議を鋭意進めている状況。伊良原ダム完成に向けて私の決意ということでお尋ねがあり、伊良原ダムは、治水・利水の両面から非常に必要性が高く、京築、田川両地域の皆様の安全で安心な暮らしを確保するために重要なダムである。平成29年度の完成に向けて議員の方からもいろいろご指摘のあった関係者との協議あるいは諸手続き、それも念頭におきまして計画的な事業推進に努めて参る。

<伊良原ダム～施策の方向性>

治水・利水の両面から非常に必要性が高い伊良原ダムについて、平成29年度の完成に向けて、様々な協議と諸手続きを経て、計画的な事業を推進する。

予算額～平成26年度 3,537,763千円

平成24年6月～香春岳周辺に生息するニホンザル<知事答弁>
⑩本県では、平成20年度に「福岡県ニホンザル対策基本方針」を策定し対策を講じている。サルの群れが農産物や林産物に甚大な被害や人への威嚇が生じている場合には、市町村は基本方針に基づき群れの捕獲が可能となっている。具体的には、サルの生息数や被害の事前調査を行い、群れの捕獲が必要な場合、大規模捕獲わな設置、事後のモニタリングを行う。県としては国や県単独補助事業を活用して技術的・財政的支援を行うとともに、農林ごとに設置している協議会で指導・助言を行う。

<香春岳周辺に生息するニホンザル～施策の方向性>
香春岳の群れは大きく二つの群れで、二百五十頭以上が生息している。香春岳の猿は地元の歴史や信仰に關係があるが、近ごろではふえ過ぎて、本県が策定している人間とニホンザルの共存を目指した基本方針に適合しなくなっている。今後は、生態系保護の観点から猿の群れを可能な限り維持し、人間と猿の生活区域を分けた上での共存を目指す。

予算額～平成26年度 4,193千円

平成25年2月～木材需要拡大と原木供給<知事答弁>

③持続可能な林業経営を確立するため、県産材の競争力の強化、需要の拡大が重要。このため、更なるコスト削減やニーズにあったものの供給が必要。県としては、森林作業の集約化や高性能林業機械の導入により、伐採作業の効率化を進め、ストックポイントを活用した製材工場への安定供給とコスト削減を促進。また、ニーズに応えるため、人工乾燥による品質向上が図られるよう、施設整備を引き続き支援。これまで県では、公共建築物等での利用を促進し、23年度の木材利用量は約6,900m³で、前年度比15%の増。市町村でも、県と同様な取組がされるよう働きかけを行っている。25年度から、園芸ハウスにおける重油と木質チップを併用した暖房システムの実証を行い、木質チップの利用を拡大していく。

<木材需要拡大と原木供給～施策の報告性>

今後、需要に対応した競争力のある県産材の供給体制の確立に向け、森林作業の集約化や林業事業体の育成を進め、木材の供給や未利用間伐材の有効利用、林業労働力の確保に取り組む。森林環境税（荒廃森林再生事業）の活用による森林整備の推進、林地の団地化と林業事業体への作業委託や経営委託の推進と路網整備や高性能林業機械の導入の推進。

予算額～平成26年度 29,347千円

平成26年2月～絶滅危惧種保護対策<知事答弁>

②英彦山は県内でも特に絶滅危惧植物の種類が多いところであるが、近年、シカによる食害が著しく、オオヤマレンゲやミヤマカラマツなど17種への影響が深刻である。絶滅危惧植物の保護に取り組むことで、英彦山の豊かな自然環境を守り、筑豊地域の魅力向上につなげていく。英彦山の植生に詳しい専門家や保健環境研究所の職員が分布や被害状況を調査。その上で種子を採取し、保健環境研究所や英彦山青年の家、添田町の施設で栽培し、再び英彦山に移植する。移植後は、シカの食害から守るために防護柵を設置し、地元のボランティア団体と協働して維持管理を実施する。また、同時に、採取した種子は、種の保存のため、保健環境研究所で冷凍保存し、必要に応じて栽培や移植を行う。今回の対策は、多様な主体による保全活動を促進するため、県と地元のボランティア団体や添田町と協働して行うものである。また、保健環境研究所において、種子の採取の時期や方法、冷凍保存の技術などの研究を行っていくこととしている。まずは、今回初めて実施する英彦山での保全対策にしっかりと取り組み、成果を検証の上、他の地域における絶滅危惧植物の保全対策にも活用してまいりたい。

<絶滅危惧種保護対策～施策の方向性>

シカの食害を受けている絶滅危惧植物保全のための種子の保存、移植及び防護柵の設置等。

予算額～平成26年度 6,644千円

田川地域に関する実績の一例です。

知事答弁の結果、施策の方向性が示され、予算が計上されます。平成26年度当初予算で計上されました。

4年間の本会議質問に関する実績です。関連予算～平成26年度当初予算額（千円）

■平成23年6月一般質問 ①田川地域の将来ビジョン ②ICT戦略と自然エネルギー政策（電力政策）	6,740千円	③県民との双方向コミュニケーションによる広報・広聴活動の強化 366,934千円	
■平成23年9月一般質問 ①社会保障と税の一体改革 ②県税収入と滞納整理	3,526,334千円 40,145千円 171,841千円	■平成25年9月一般質問 ①2020年東京オリンピック・パラリンピック開催 ②小中学生の体力向上 ③英彦山青年の家 ④県立高等学校同窓会	136,811千円 14,206千円 47,338千円 16,877千円
■平成23年12月一般質問 ①水道事業 ②伊良原ダム ③アジア環境ビジネスの展開	675,002千円 3,537,763千円 44,376千円	■平成25年12月代表質問 ①知事の政治（姿勢県民幸福度日本一） ②農地中間管理機構、米政策の転換方針、カク被害等	16,922千円 2,531,897千円
■平成24年2月一般質問 ①情報セキュリティ対策に対して現状と取り組み ④警察本部におけるサイバーテロ対策	350,759千円 31,960千円	③自主防災組織のリーダー育成、防火対策 ④情報通信政策 ⑤田川地域活性化（田川地域包括連携協定） ⑥教育問題（子ども・子育て支援新制度、筑豊地区的学力向上）	29,608千円 759,202千円 6,740千円
■平成24年6月代表質問 ⑦県防災・ハイパーネット ⑨新規就農者の取組み ⑩香春岳周辺のニホンザル ⑪国際規格になったRubb ⑫田川地域の観光振興 ⑭SOHOサポートセンター ⑯新たな出会い応援事業 ⑯中・高一貫教育校について	9,207千円 961,179千円 4,193千円 51,246千円 82,727千円 952千円 9,065千円 81,505千円	⑦警察問題（警察官の術科訓練）	299,706千円 1,225千円
■平成24年9月一般質問 ①本県海外事務所のあり方 ②地元企業からの要望案件 ③外資系企業の県内誘致	169,964千円 11,994千円 6,111千円	■平成26年2月一般質問 ①循環型社会への取り組み ②絶滅危惧種保護対策	254,516千円 6,644千円
■平成24年12月一般質問 ①福岡県・デリー州友好提携 ③雇用格差 ④学力格差 ⑤地域間格差（経済格差）	196,657千円 491,444千円 289,928千円 43,916千円	■平成26年6月一般質問 ①田川地域の企業誘致 ②住民交流の促進と新たな観光振興策 ③広域的地域水道ビジョン（伊良原ダム）	1,054,056千円 37,770千円 3,537,763千円
■平成25年2月一般質問 ①森林経営計画 ②九州北部豪雨災害の復旧 ③木材需要拡大と原木供給	33,907千円 432,215千円 29,347千円	■平成26年9月代表質問 ①地方創生 ②九州の観光戦略 ③田川・京築地区への航空機産業の誘致 ⑤軍師官兵衛・福岡プロモーション活動 ⑥添田町歴史的風致維持向上計画 ⑨農産物の輸出 ⑩ふくおかエコ農産物・GAP（ギャップ） ⑪農外からの新規参入者拡大 ⑯暴力団壊滅に向けた取組み	43,916千円 72,281千円 5,241千円 15,000千円 112,836千円 40,935千円 15,031千円 961,179千円 401,225千円
■平成25年6月一般質問 ②災害時の（県民への情報伝達を目的とした）ソーシャルメディアの活用	378,223千円	■平成26年12月一般質問 ②婚姻数を増やすための取組み	9,065千円

地元からの様々な陳情や要望、請願を受けました。議会や執行部、田川県土整備事務所や飯塚農林事務所、また国への働きかけを行いました。これからも誠心誠意、地域の代弁者として頑張って参ります！

県道猪国豊前樹田停車場線（川崎町下真崎公民館横交差点）が平成27年1月28日に開通しました。行き詰つてしました道路整備の陳情を受けたのが、この県道猪国豊前樹田停車場線でした。最初に添田町在住の元川崎町役場課長から話があり、地元の皆さんからの強い要望をお伺いしました。その後、田川県土整備事務所長に連絡し、区長さんをはじめ地域の皆さん、川崎町役場にも同行して頂き、関係者のご尽力により予算が確保でき、開通の運びとなりました。地域の方々の生活の安全や小学校通学路としての児童の安全を確保する機能も果たすことができました。関係者の皆さんに感謝を申し上げます。総事業費5億7千万円
平成26年2月10日、福智町子どもの未来を守る会から、「中泉地区産業廃棄物管理型最終処分場計画に関する請願」が提出されました。請願とは、国民に認められた憲法上の権利の一つであり、国及び地方公共団体に対して要望や意見を述べることを言います。請願書は、要旨、理由などを記載し、県議会議員（1人以上）の紹介を経て、議長あて提出されます。私は、地元や議会棟で福智町子どもの未来を守る会の皆さんと意見交換を交わし、執行部とも協議し、会派の承諾を得て、請願の紹介議員になりました。平成26年12月16日小川洋福岡県知事は、平成24年2月29日付けの申請により求められた産業廃棄物処理施設の設置について、不許可とする処分を下しました。

県政報告会のお知らせ

3月22日 午後3時 街頭演説

郷土のために



自由民主党・農政連推薦

田川市

石炭記念公園

麻生太郎先生

副総理
財務大臣・金融担当大臣

歴史

昭和53年 添田町立添田中学校卒業
昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
昭和60年 麻生セメント株式会社入社
平成2年 株式会社麻生情報システム転籍(分社化)
平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
平成19年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
平成19年 福岡県議選(田川郡区) 13,508次点
平成23年 福岡県議選(田川郡区) 13,519初当選
平成23年 福岡県議会議員

福岡県議会での主な所属

環境委員会議員 国際交流委員会議員
農林水産常任委員会 副委員長
平成26年度決算特別委員会 委員兼理事

福岡県農政連 全体委員
福岡県農業振興審議会 委員
少子高齢化対策調査特別委員会 委員
九州・沖縄未来創造会議員連盟 幹事
オイスカ国際交流促進会議員連盟 理事
福岡県果樹振興議員連盟 事務局長
田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問

福岡県日韓友好議員連盟 副会長

福岡県日米友好議員連盟
福岡県日中友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟

福岡県タイ友好議員連盟

福岡県ペトナム友好議員連盟

福岡県日台友好議員連盟

福岡県森林・林業・林業活性化促進議員連盟

福岡県防衛議員連盟

過疎地域活性化対策福岡県議員連盟

福岡県被光事業振興議員連盟

福岡県スポーツ議員連盟

九州の自立を考える会 政策提言委員

こうざき聰事務所

〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417
TEL: 0947-41-3880 FAX: 0947-41-3881

こうざき聰
ホームページ

検索

